

**第1回 リムふくやまリノベーション再生事業
評価協議会**

2022年8月24日

本日の流れ

- 開会
- 座長あいさつ
- 自己紹介
- 協議会の役割等について
- 議論テーマの説明
- 事業計画の説明
- 意見交換
- 閉会

1 協議会の役割等について

(1)役割

- 本協議会では、本事業が目的やコンセプト(※資料2参照)に沿って進んでいるか、収支における継続性をもって進んでいるか、確認・評価を行うとともに、事業の効果をより高めるための方策等について議論を行う。
- 単に、事業の良し悪しの評価だけするのではなく、エリア価値の向上に向けて何をすれば課題を克服できるか、より事業の効果が高まるか、という**前向きな議論**を行うことを重視。

(2)会議の公開の有無

- 事業の透明性を高めるため、原則として会議の**議事要旨と資料は後日、市HP上で公開**
- 会議自体は、運営事業者の企業本体の経営状況などに触れる場合も考えられるため**非公開**

(3)開催頻度

- 年1回では課題に対する解決策などがタイムリーに議論できないため、協議会の目的を十分果たすことができるよう、**半年に1回**の開催

2 議論テーマ

(1) プロポーザル選定時の課題

- プロポーザルの選定時には、**運営体制における責任の所在の明確化や資金計画の明確化、本業との分離**などが課題として挙げられていた。
- 詳細は資料4を参照。

(2) 事業評価の考え方

➤ 事業単体とエリア波及の2つを図る評価軸が必要

➤ 事業単体

(例)

- キャッシュフロー
- 入館者数
- 入館者アンケート
- テナントの満足度調査
- 駐車場稼働状況
- ミーティングルーム（貸会議室）稼働状況 など

➤ エリア波及

(例)

- 周辺への新規出店数
- 地価
- 流動客数
- 商店街等との連携イベント数
- 地元商店会や自治会へのヒアリング調査
- アクティビティ調査
- エリアの居住人口・従業者数 など

(3) 事業の効果をより高めるために

- 運営事業者が感じている課題に対しての助言
- 地域や行政と連携して取り組むべきこと, など

3 意見交換

テーマ

- (1) プロポーザル選定時の課題について
- (2) 事業評価の考え方について
- (3) 事業の効果をより高めるために